

2020年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年5月12日

上場会社名 横河電機株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6841 URL <http://www.yokogawa.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奈良 寿
 問合せ先責任者 (役職名) 財務・IR部長 (氏名) 中谷 博彦 TEL (0422)52-6845
 定時株主総会開催予定日 2020年6月24日 配当支払開始予定日 2020年6月25日
 有価証券報告書提出予定日 2020年6月24日
 決算補足説明資料作成の有無： 有
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期の連結業績 (2019年4月1日～2020年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	404,432	0.2	35,588	2.9	36,301	△1.3	14,686	△48.4
2019年3月期	403,711	△0.7	34,594	5.8	36,770	10.3	28,446	32.4

(注) 包括利益 2020年3月期 6,820百万円 (△75.2%) 2019年3月期 27,513百万円 (14.0%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2020年3月期	55.02	-	5.1	7.6	8.8
2019年3月期	106.54	-	10.1	8.0	8.6

(参考) 持分法投資損益 2020年3月期 1,405百万円 2019年3月期 1,086百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	489,678	291,472	58.4	1,071.07
2019年3月期	470,114	296,150	61.7	1,085.88

(参考) 自己資本 2020年3月期 285,904百万円 2019年3月期 289,859百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2020年3月期	31,132	△18,182	4,583	99,658
2019年3月期	21,410	△4,088	△6,988	85,701

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2019年3月期	-	15.00	-	17.00	32.00	8,542	30.0	3.0
2020年3月期	-	17.00	-	17.00	34.00	9,075	61.8	3.2
2021年3月期 (予想)	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 現時点では、2021年3月期の配当予想は未定としています。開示が可能となった時点で速やかに公表します。

3. 2021年3月期の連結業績予想 (2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想については、COVID-19の影響による極めて不透明な事業環境が業績に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため未定とします。

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有
 ② ①以外の会計方針の変更： 無
 ③ 会計上の見積りの変更： 無
 ④ 修正再表示： 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期	268,624,510株	2019年3月期	268,624,510株
② 期末自己株式数	2020年3月期	1,690,805株	2019年3月期	1,689,149株
③ 期中平均株式数	2020年3月期	266,934,329株	2019年3月期	267,008,640株

(参考) 個別業績の概要

1. 2020年3月期の個別業績（2019年4月1日～2020年3月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期	110,283	△1.3	△1,836	-	17,699	△30.7	4,347	△86.3
2019年3月期	111,756	7.1	△209	-	25,537	37.9	31,820	265.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期	16.29	-
2019年3月期	119.17	-

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期	281,508	190,482	67.7	713.60
2019年3月期	270,917	197,607	72.9	740.28

(参考) 自己資本 2020年3月期 189,793百万円 2019年3月期 197,607百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ その他特記事項

当社は2020年5月12日（火）に決算説明会を電話会議にて開催する予定です。当日使用する決算説明資料は、同日速やかに当社ウェブサイトへ掲載予定です。

[添付資料]

添付資料の目次

(ページ)

1. 経営成績等の概況	
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 連結財務諸表及び主な注記	
(1) 連結貸借対照表	4
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	
連結損益計算書	6
連結包括利益計算書	7
(3) 連結株主資本等変動計算書	8
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	10
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	
(継続企業の前提に関する注記)	12
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	12
(会計方針の変更)	13
(連結損益計算書関係)	13
(セグメント情報等)	14
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16
<参考資料> 2020年3月期 連結決算情報	17

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当社グループは、2018年度を初年度とし2020年度までの3か年を対象とする中期経営計画“Transformation 2020”（以下、TF2020）に基づき、持続可能な社会を実現する事業の確立を目指して「既存事業の変革」、「新事業とビジネスモデル変革への挑戦」、「グループ全体最適による生産性向上」の3つの変革に取り組みました。また、これらすべての変革の基盤として、デジタル技術を最大限に活用する「デジタルトランスフォーメーション」を価値創造の駆動力として「成長機会の創出」と「成長基盤の確立」に努めました。

当社グループの業績は、子会社譲渡や為替の変動及び第4四半期後半に新型コロナウイルス感染症（COVID-19）拡大に伴う経済活動制限による影響などを受けましたが、主に制御事業が堅調に推移してきたことから、前期比で増収、営業利益は増益となりました。一方、親会社株主に帰属する当期純利益は、関係会社株式売却益及び事業譲渡益を特別利益に計上したものの、海外子会社に係るのれん等減損損失及びソフトウェア対策強化引当金繰入額を特別損失に計上したことなどにより、前期比で137億円の減少となりました。

業績の概況は以下のとおりです。

	2019年3月期	2020年3月期	差異	増減率
売上高	4,037億11百万円	4,044億32百万円	7億20百万円	0.2%
営業利益	345億94百万円	355億88百万円	9億94百万円	2.9%
経常利益	367億70百万円	363億1百万円	△4億69百万円	△1.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	284億46百万円	146億86百万円	△137億59百万円	△48.4%
(参考)1米ドル平均レート	111.07円	108.96円	△2.11円	-

セグメント別の概況は以下のとおりです。

<制御事業>

	2019年3月期	2020年3月期	差異	増減率
売上高	3,647億74百万円	3,705億50百万円	57億75百万円	1.6%
営業利益	339億70百万円	341億59百万円	1億88百万円	0.6%

制御事業は、為替の変動及びCOVID-19感染拡大の影響を受けつつも、主に課題解決や運用・保守ビジネスを中心に底堅く推移した結果、増収増益となりました。

<計測事業>

	2019年3月期	2020年3月期	差異	増減率
売上高	228億70百万円	247億77百万円	19億6百万円	8.3%
営業利益	19億39百万円	16億38百万円	△3億円	△15.5%

計測事業は、売上高は堅調に推移しましたが、主にライフインベション事業における先行投資の影響などにより、増収減益となりました。

<航機その他事業>

	2019年3月期	2020年3月期	差異	増減率
売上高	160億66百万円	91億5百万円	△69億60百万円	△43.3%
営業利益	△13億15百万円	△2億9百万円	11億6百万円	-

航機その他事業は、子会社の譲渡により売上高は大幅に減少しましたが、粗利率改善などにより、赤字幅は縮小しました。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、減損損失の計上によりおのれん等が減少した一方、COVID-19感染拡大の影響に伴う不測の資金需要に備え、コマーシャル・ペーパーを発行したことにより現金及び預金が増加したことや、(会計方針の変更)に記載のIFRS第16号(リース)の適用により使用権資産が増加したため、前連結会計年度末に比べ195億円増加し4,896億円となりました。

また、負債合計は、コマーシャル・ペーパーを発行したことや、同IFRS第16号(リース)の適用によりリース債務が増加したため、前連結会計年度末に比べ242億円増加し1,982億円となりました。

純資産は、親会社株主に帰属する当期純利益を計上した一方、配当金の支払や為替換算調整勘定等が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ46億円減少し2,914億円となりました。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ3.3ポイント減少し、58.4%となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期純利益や減価償却費の計上等により、311億円の収入(前期比97億円の収入増)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得等により、181億円の支出(前期比140億円の支出増)となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や配当金の支払に対して、コマーシャル・ペーパーの発行等により、45億円の収入(前期は、69億円の支出)となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当期末残高は、前期末から139億円増加し996億円となりました。

(4) 今後の見通し

COVID-19は世界的に拡大を続けており、収束の見通しは立っていません。IMFなどからもリーマンショックを上回る規模で経済が後退するシナリオも示されており、世界経済の見通しは一段と不透明となっています。また、OPECプラスによる協調減産が一定の合意に達したものの、経済停滞による燃料需要の大幅な減少をカバーするには至らず、一定の期間、原油価格は低水準で推移するものと見込まれています。これに伴い、オイル、ガスなどエネルギー関連の業種を中心に2020年度の設備投資計画の大幅な見直しが行われており、エネルギー関連以外の業種においても、経済停滞による需要減により、お客様の設備投資意欲は大幅に減退することが見込まれるとともに、設備投資案件の減少に伴う競合他社との価格競争がさらに激化することなどが想定されます。

当社主力の制御事業では、お客様の既設設備の安全・安定操業や生産性向上に向けたOPEX(Operating Expenditure)ビジネスを拡大しており、新設投資への依存度は決して高くありません。しかしながら、COVID-19感染拡大による経済活動の大幅な制限や、それに伴うエネルギー資源需要の減少と価格下落が生じており、そうした状況が長期化した場合には、大きな影響を受けることが予想され、当社グループの2020年度の受注高及び売上高へのリスクが顕在化しつつあります。

当社グループの2021年3月期の連結業績予想については、COVID-19の影響によるこのような極めて不透明な事業環境が業績に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため未定とします。

今後、連結業績予想の算定が可能となった時点で速やかに開示します。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

株主の皆様に対する利益還元は経営の最重要施策の一つと認識し、利益成長を通じて安定的・継続的な増配を目指します。具体的には、業績および中長期的な株主価値の最大化に向けた投資資金の確保、成長投資を支える財務基盤の維持を総合的に勘案しながら、連結配当性向30%を上回る配当水準の確保に努めます。また、一時的な要因で業績が悪化した場合においても、株主資本配当率を踏まえた安定的な配当の維持を図ります。

なお、当期の期末配当金につきましては、当期の親会社株主に帰属する当期純利益がソフトウェア対策強化引当金繰入額及び減損損失を特別損失に計上したことなどにより、発表していた連結業績予想から減少する結果となりましたが、上記の配当方針に基づく連結配当性向や株主資本配当率、財務状況等を勘案したうえで安定的・継続的な配当とするために、当初予定通り1株当たり17円といたします。これにより、中間配当金と合わせた年間配当金は過去最高の34円を予定しています。

また、次期の配当につきましては、現時点では業績予想が困難であることから未定とします。

今後、連結業績予想の公表が可能となった時点で、合わせて配当予想を開示します。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は、日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。

なお、国際会計基準の適用に関しましては、従来から検討を行っており、今後も当社グループを取り巻く国内外の状況を鑑み、企業価値向上の観点から適宜対応していきます。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	86,515	101,522
受取手形及び売掛金	171,084	175,687
商品及び製品	13,092	14,297
仕掛品	9,126	7,516
原材料及び貯蔵品	14,622	15,527
その他	16,250	18,003
貸倒引当金	△4,130	△3,673
流動資産合計	306,560	328,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	45,721	44,306
機械装置及び運搬具（純額）	6,492	6,704
工具、器具及び備品（純額）	5,875	5,881
土地	15,750	15,162
リース資産（純額）	198	259
使用権資産（純額）	-	7,929
建設仮勘定	1,102	2,815
有形固定資産合計	75,141	83,059
無形固定資産		
ソフトウェア	15,798	12,525
のれん	6,608	3,132
その他	11,650	7,108
無形固定資産合計	34,057	22,766
投資その他の資産		
投資有価証券	42,550	42,933
繰延税金資産	6,606	6,485
その他	7,214	7,524
貸倒引当金	△2,016	△1,971
投資その他の資産合計	54,354	54,970
固定資産合計	163,553	160,796
資産合計	470,114	489,678

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	25,130	24,358
電子記録債務	9,966	9,723
短期借入金	13,832	16,400
コマーシャル・ペーパー	-	30,000
未払金	13,530	13,367
未払法人税等	4,332	4,769
前受金	36,891	33,382
リース債務	273	2,202
賞与引当金	15,538	15,689
工事損失引当金	7,806	7,606
ソフトウェア対策強化引当金	-	898
その他	20,366	20,502
流動負債合計	147,669	178,900
固定負債		
長期借入金	18,670	4,080
繰延税金負債	1,914	793
退職給付に係る負債	4,050	4,590
リース債務	201	6,757
ソフトウェア対策強化引当金	-	1,840
その他	1,457	1,243
固定負債合計	26,293	19,305
負債合計	173,963	198,206
純資産の部		
株主資本		
資本金	43,401	43,401
資本剰余金	54,602	54,386
利益剰余金	193,468	199,080
自己株式	△1,397	△1,400
株主資本合計	290,074	295,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,431	7,020
繰延ヘッジ損益	20	-
為替換算調整勘定	△8,314	△14,677
退職給付に係る調整累計額	△1,351	△1,905
その他の包括利益累計額合計	△214	△9,562
非支配株主持分	6,290	5,568
純資産合計	296,150	291,472
負債純資産合計	470,114	489,678

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
売上高	403,711	404,432
売上原価	230,641	227,922
売上総利益	173,070	176,510
販売費及び一般管理費	138,475	140,921
営業利益	34,594	35,588
営業外収益		
受取利息	672	523
受取配当金	1,650	1,743
持分法による投資利益	1,086	1,405
雑収入	1,138	1,222
営業外収益合計	4,549	4,894
営業外費用		
支払利息	330	610
支払手数料	149	135
為替差損	545	1,884
雑損失	1,347	1,550
営業外費用合計	2,373	4,181
経常利益	36,770	36,301
特別利益		
固定資産売却益	33	517
投資有価証券売却益	718	26
関係会社株式売却益	1,804	1,468
事業譲渡益	-	※1 823
特別利益合計	2,557	2,836
特別損失		
固定資産売却損	14	13
固定資産除却損	365	286
減損損失	113	※2 9,507
ソフトウェア対策強化引当金繰入額	-	※3 3,478
投資有価証券売却損	2	-
投資有価証券評価損	176	92
関係会社株式売却損	227	-
特別損失合計	899	13,379
税金等調整前当期純利益	38,428	25,759
法人税、住民税及び事業税	10,784	10,125
法人税等調整額	△2,530	△775
法人税等合計	8,253	9,349
当期純利益	30,174	16,409
非支配株主に帰属する当期純利益	1,727	1,722
親会社株主に帰属する当期純利益	28,446	14,686

(連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
当期純利益	30,174	16,409
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,449	△2,433
繰延ヘッジ損益	49	△20
為替換算調整勘定	△5	△6,411
退職給付に係る調整額	△162	△519
持分法適用会社に対する持分相当額	△93	△204
その他の包括利益合計	△2,661	△9,589
包括利益	27,513	6,820
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	25,926	5,338
非支配株主に係る包括利益	1,586	1,481

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	43,401	54,560	173,034	△1,393	269,602
当期変動額					
剰余金の配当			△8,012		△8,012
親会社株主に帰属する 当期純利益			28,446		28,446
自己株式の取得				△4	△4
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動					-
その他		41			41
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	41	20,434	△4	20,471
当期末残高	43,401	54,602	193,468	△1,397	290,074

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	11,873	△29	△8,426	△1,112	2,305	6,796	278,704
当期変動額							
剰余金の配当							△8,012
親会社株主に帰属する 当期純利益							28,446
自己株式の取得							△4
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							-
その他							41
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△2,442	49	111	△239	△2,519	△506	△3,026
当期変動額合計	△2,442	49	111	△239	△2,519	△506	17,445
当期末残高	9,431	20	△8,314	△1,351	△214	6,290	296,150

当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	43,401	54,602	193,468	△1,397	290,074
当期変動額					
剰余金の配当			△9,075		△9,075
親会社株主に帰属する 当期純利益			14,686		14,686
自己株式の取得				△3	△3
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動		△216			△216
その他					-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	-	△216	5,611	△3	5,392
当期末残高	43,401	54,386	199,080	△1,400	295,466

	その他の包括利益累計額					非支配株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る 調整累計額	その他の 包括利益 累計額合計		
当期首残高	9,431	20	△8,314	△1,351	△214	6,290	296,150
当期変動額							
剰余金の配当							△9,075
親会社株主に帰属する 当期純利益							14,686
自己株式の取得							△3
非支配株主との取引に 係る親会社の持分変動							△216
その他							-
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	△2,410	△20	△6,363	△553	△9,348	△722	△10,070
当期変動額合計	△2,410	△20	△6,363	△553	△9,348	△722	△4,677
当期末残高	7,020	-	△14,677	△1,905	△9,562	5,568	291,472

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	38,428	25,759
減価償却費	16,126	18,032
のれん償却額	880	759
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	52	△433
賞与引当金の増減額 (△は減少)	940	619
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	406	678
受取利息及び受取配当金	△2,323	△2,266
支払利息	330	610
持分法による投資損益 (△は益)	△1,086	△1,405
投資有価証券売却損益 (△は益)	△716	△26
関係会社株式売却損益 (△は益)	△1,576	△1,468
固定資産売却損益 (△は益)	△19	△504
固定資産除却損	365	286
事業譲渡損益 (△は益)	-	△823
ソフトウェア対策強化引当金繰入額	-	3,478
減損損失	113	9,507
売上債権の増減額 (△は増加)	△15,733	△13,039
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△9,017	△2,872
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,860	△402
未払費用の増減額 (△は減少)	91	1,409
その他	2,105	2,310
小計	31,228	40,209
利息及び配当金の受取額	2,184	2,310
利息の支払額	△337	△612
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△11,664	△10,774
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,410	31,132
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	-	△1,561
定期預金の払戻による収入	1,568	368
有形固定資産の取得による支出	△7,890	△9,925
有形固定資産の売却による収入	174	867
無形固定資産の取得による支出	△5,593	△7,090
事業譲渡による収入	-	902
投資有価証券の取得による支出	△1,392	△1,696
投資有価証券の売却及び償還による収入	1,100	45
関係会社株式の取得による支出	-	△759
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△194	△1,550
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	8,027	2,287
その他	112	△70
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,088	△18,182

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)	当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,481	△1,615
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	-	30,000
長期借入金の返済による支出	△176	△10,264
リース債務の返済による支出	△507	△2,790
配当金の支払額	△8,008	△9,072
非支配株主への配当金の支払額	△773	△1,316
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	-	△354
その他	△4	△3
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,988	4,583
現金及び現金同等物に係る換算差額	△469	△3,577
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	9,864	13,957
現金及び現金同等物の期首残高	75,836	85,701
現金及び現金同等物の期末残高	85,701	99,658

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)

1. 連結の範囲に関する事項

① 連結子会社 109社

連結の範囲の変更があった会社は、次のとおりです。

(増加 4社)

株式取得：

Grazper Technologies ApS (デンマーク)

RAP International Ltd. (イギリス)

会社設立：

Yokogawa Qatar QFZ LLC (カタール)

Yokogawa Czech Republic, s.r.o. (チェコ)

(減少 3社)

株式売却：

横河医療ソリューションズ㈱ (日本)

会社清算：

横河テストソリューションズ㈱ (日本)

吸収合併：

Yokogawa Service Ltda. (ブラジル)

② 非連結子会社 1社

(主要会社名) 横河ファウンドリー㈱

連結財務諸表に重要な影響を及ぼしていないため、連結の範囲から除外しています。

2. 持分法の適用に関する事項

① 非連結子会社 1社

(主要会社名) 横河ファウンドリー㈱

② 関連会社 4社

(主要会社名) 横河レンタ・リース㈱

③ 持分法適用会社のうち、決算日が連結決算日と異なる一部の会社については、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しており、一部の会社については、各社の直近の事業年度に係る財務諸表を使用しています。

④ 持分法の適用の範囲に変更があった会社は、以下のとおりです。

(増加 1社)

株式取得：

Sensire Ltd. (フィンランド)

3. 連結子会社の事業年度等に関する事項

連結子会社のうち横河電機(蘇州)有限公司他17社については、決算日は12月31日です。

連結財務諸表作成に当たって、これらの会社については、連結決算日現在で実施した仮決算に基づく財務諸表を使用しています。

4. 連結納税制度の適用

当社及び一部の連結子会社は、連結納税制度を適用しています。

(会計方針の変更)

当社グループの在外連結子会社において、当連結会計年度よりIFRS第16号（リース）を適用しています。本会計基準の適用により、借手のリース取引については、原則、使用権資産及びリース負債を認識するとともに、使用権資産の減価償却費とリース負債に係る支払利息を計上しています。

これにより、当連結会計年度末における使用権資産が7,902百万円、リース債務（流動負債）が1,899百万円、リース債務（固定負債）が6,495百万円増加しています。なお、連結損益計算書に与える影響額は軽微です。

本会計基準の適用にあたっては、経過的な取扱いに従って、本会計基準の適用による累積的影響額を適用開始日に認識する方法を採用しています。

(連結損益計算書関係)

※1. 事業譲渡益

樹脂型渦流量計事業の譲渡に係るものです。

※2. 減損損失

当連結会計年度において、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

場所	用途	種類	減損損失の金額 (百万円)
英国	事業用資産	のれん	2,936
		その他無形資産	3,674
		ソフトウェア	968
		使用権資産	580
		工具、器具及び備品	61
米国	事業用資産	のれん	1,016
		その他無形資産	269
		合計	9,507

当社グループの事業用資産については、管理会計の区分に基づきグルーピングをしています。

英国の連結子会社であるKBC Advanced Technologies Limited及び米国の連結子会社であるSoteica Visual Mesa, Limited Liability Companyの株式取得時に計上したのれん等について、各社を取り巻く事業環境の変化を受け、当初想定していた事業計画を下回って業績が推移していることから帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として計上しました。

なお、当資産グループの回収可能価額は、使用価値により測定しており、将来キャッシュ・フローを10%で割り引いて算定しております。

※3. ソフトエラー対策強化引当金繰入額

お客様に対するソフトエラー対策及びサポート強化に伴い、今後発生が見込まれる費用を計上したものです。

(セグメント情報等)

1. 報告セグメントの概要

当社は、「制御事業」「計測事業」「航機その他事業」の3つを報告セグメントとしています。

制御事業は、流量計、差圧・圧力伝送器、プロセス分析計等、現場のセンサから生産制御システム、プログラマブルコントローラ、工業用記録計等、生産性向上のための各種ソフトウェア、プラントのライフサイクルコストを最小化するサービスに至る総合的なソリューションを提供しています。

計測事業は、波形測定器、光通信関連測定器、信号発生器、電力・温度・圧力測定器や、細胞を生きたまま観察できる共焦点スキャナ等を提供しています。

航機その他事業は、航空機用計器等を提供しています。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

		前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		対前期比
		金額 (百万円)	百分比 (%)	金額 (百万円)	百分比 (%)	増減金額 (百万円)
制御事業	外部顧客への売上高	364,774	90.3	370,550	91.6	5,775
	営業利益	33,970	98.2	34,159	96.0	188
計測事業	外部顧客への売上高	22,870	5.7	24,777	6.1	1,906
	営業利益	1,939	5.6	1,638	4.6	△300
航機その他事業	外部顧客への売上高	16,066	4.0	9,105	2.3	△6,960
	営業利益	△1,315	△3.8	△209	△0.6	1,106
連結	外部顧客への売上高	403,711	100.0	404,432	100.0	720
	営業利益	34,594	100.0	35,588	100.0	993

3. 地域ごとの売上高

	前連結会計年度 (自 2018年4月1日 至 2019年3月31日)		当連結会計年度 (自 2019年4月1日 至 2020年3月31日)		対前期比 金額 (百万円)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
日本	128,080	31.7	126,467	31.3	△1,613
海外	275,631	68.3	277,965	68.7	2,334
東南アジア・極東	72,558	18.0	66,000	16.3	△6,558
中国	47,049	11.6	47,310	11.7	260
インド	13,839	3.4	15,339	3.8	1,500
欧州全域	34,223	8.5	32,599	8.1	△1,624
ロシア	18,086	4.5	19,511	4.8	1,424
北米	31,759	7.9	32,705	8.1	945
中東・アフリカ	49,776	12.3	55,461	13.7	5,685
中南米	8,338	2.1	9,039	2.2	700
連結	403,711	100.0	404,432	100.0	720

売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しています。

各区分に属する国又は地域の内訳は次のとおりです。

- (1) 東南アジア・極東 シンガポール、韓国等
- (2) 中国 中国
- (3) インド インド
- (4) 欧州全域 オランダ、フランス、イギリス、ドイツ等
- (5) ロシア ロシア
- (6) 北米 米国、カナダ
- (7) 中東・アフリカ バーレーン、サウジアラビア等
- (8) 中南米 ブラジル等

(1株当たり情報)

	前連結会計年度	当連結会計年度
1株当たり純資産額	1,085円88銭	1,071円07銭
1株当たり当期純利益	106円54銭	55円02銭

(注) 1. なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりです。

	前連結会計年度	当連結会計年度
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,446百万円	14,686百万円
普通株式に係る親会社株主に帰属 する当期純利益	28,446百万円	14,686百万円
期中平均株式数	267,008,640株	266,934,329株

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

<参考資料>

2020年5月12日
横河電機株式会社

2020年3月期 連結決算情報

(単位：百万円)

	2019/3		2020/3		前期比	
	金額	売上高比	金額	売上高比	金額	売上高比
売上高	403,711	-	404,432	-	720	-
営業利益	34,594	8.6%	35,588	8.8%	994	0.2%
経常利益	36,770	9.1%	36,301	9.0%	△469	△0.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	28,446	7.0%	14,686	3.6%	△13,759	△3.4%
包括利益	27,513	6.8%	5,610	1.7%	△21,902	△5.1%
総資産	470,114		489,678		19,564	
純資産	296,150		291,472		△4,677	
自己資本当期純利益率	10.1%		5.1%		△5.0%	
1株当たり当期純利益	106.54円		55.02円		△51.52円	
1株当たり純資産	1,085.88円		1,071.07円		△14.81円	
設備投資	14,959		19,626		4,667	
減価償却費	17,006		18,791		1,784	
研究開発費	26,249		27,604		1,355	
期中平均為替レート(米ドル)	111.07円		108.96円		△2.11円	

連結会計年度 受注高

(単位：百万円)

	2019/3	2020/3	2021/3 予想
制御事業	393,646	385,913	COVID-19が業績に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため未定とします。
計測事業	22,938	25,714	
航機その他事業	15,387	7,034	
合計	431,972	418,662	

連結会計年度 売上高

(単位：百万円)

	2019/3	2020/3	2021/3 予想
制御事業	364,774	370,550	COVID-19が業績に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため未定とします。
計測事業	22,870	24,777	
航機その他事業	16,066	9,105	
合計	403,711	404,432	

連結会計年度 営業利益

(単位：百万円)

	2019/3	2020/3	2021/3 予想
制御事業	33,970	34,159	COVID-19が業績に与える影響を精査中であり、現時点では合理的な算定が困難であるため未定とします。
計測事業	1,939	1,638	
航機その他事業	△1,315	△209	
合計	34,594	35,588	